

KEY STAGE2（小学校 第3学年）地球未来科学習指導案

1. 単元名 「安心院の七不思議」調査隊

2. 単元目標

A. 捉える（関わる）力

○安心院の七不思議について、地域の人と繰り返し関わりながら、友だちと協力して調べたり、地域の人に安心院の七不思議を伝えていく方法を考えたりすることを通して、ふるさとのことを思う地域の人々の思いや願いに気づき、自分たちができていることを考えることができる。

B. 解決する力

○探検や調べ学習（インタビュー・インターネット）から分かったことや感じたことを、思考ツールを使ったり、グループで話し合ったりして整理分析し、次の調べたい課題を作ったり追求したりして答えをまとめるということを繰り返して行うことができる。

○安心院の七不思議について、地域の人と関わりながら探検したり、地域の人に聞き取り調査（インタビュー）をしたりして、必要な情報を収集することができる。

C. 英語をツールとしたコミュニケーション力

○安心院の七不思議に関する英語表現をALTに教えてもらったり、ALTの国にある外国の七不思議を聞いたりして、世界へと視野を広げることができる。

3. 単元設定の立場

4. 指導計画（33時間）

学習過程	時	学習活動と予想される子どもの反応	評価規準（つきたい力）	教科との関連
課題設定	1	<p>○安心院について思い浮かぶことを出し合い、今年は何をしようか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぶどう・ワイン・饅頭・スッポン・自然（山・田んぼ・滝）が多い・セルフおの（スーパー）・家族村・安心院七不思議 ・今年は安心院七不思議について調べてみよう 	<p>○安心院の七不思議について興味を持つことができる。（A-1）</p>	
	3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">安心院の七不思議調査隊を結成しよう</div> <p>○七不思議について知っていることや調べたいこと、不思議に思っていることなど思い浮かぶことを出し合う。（ウェビングマップ：思考を広げる）</p> <p>○自分たちが七不思議をどのくらい知っているのか、行ったことがあるのかを調べて表にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知らない人が多い ・行ったことがない人も多い ・兄弟は調べたことがあるから知っている ・自分たちも知りたい、行ってみたい ・みんなで調べよう <p>○知っていることと知らないことを確認し、調べる内容を明確にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな話かな ・どこにあるのかな ・どんな方法で情報を集めたらいいのかな 	<p>○七不思議という言葉から思い浮かぶ言葉を書くことができる。（B-1）</p>	

情報収集・課題設定	3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">七不思議の調査をしよう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">自分たちで七不思議について調べよう</div> <p>○本やインターネットで分かる範囲の情報を集め、調べる計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本がある ・マップがある ・紙芝居がある ・歩いて行ける場所にあるみたい ・情報が少ないな <p>○紙芝居や本を読んで、感想を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当の話かな ・なんで本や紙芝居を作ったのかな ・場所はどこかな、行ってみたいな ・行って写真を撮ってみたいかな ・詳しい人に聞いてみたいな 	○友だちと協力して、本やインターネットで調べることができる。(B-2)	国語 (本を使って調べよう) (コンピュータのローマ字入力)
情報収集	4	<p>○調査に行くために必要なことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何のために行くのか、目的 ・何を調べるのか ・七不思議に詳しい人はだれか ・何をインタビューするのか ・日時 ・場所 ・行く順番 ・行く時のきまり ・持ち物 <p>○マップで場所を確かめながら、実際に七不思議を見て回り、写真を撮ったり、気づいたことや不思議に思ったことなどをメモしたりする。</p> <p>○七不思議に関する疑問について3つの視点でGTにインタビューをする。</p> <p>〈七不思議のお話に関する疑問〉 〈七不思議の場所に見に行つての疑問〉 〈七不思議に関わる人に関する疑問〉</p>	<p>○マップを使って場所を確認することができる。(B-2)</p> <p>○写真を撮ったり、メモをしたりして情報を記録に残すことができる。(B-2)</p>	社会 (わたしたちのまち) 国語 (インタビュー)
整理分析	3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">七不思議で調査したことをまとめよう</div> <p>○七不思議の調査から分かったことを3つの視点でまとめる。 (Yチャート: 多面的に見る、整理する)</p> <p>○まとめたことから、七不思議について自分たちが気づいたことを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話がおもしろい ・話の説明が難しくて分かりにくい ・地域の人は知っているのかな ・多くの人に知ってもらいたい ・地域の人に行ってもらいたい ・大事に守りたい 	<p>○カードを使い、整理・分析することができる。(B-3)</p> <p>○情報をもとに自分の考えを持つことができる。(A-4)</p>	
情報収集	2	<p>○地域の人は、七不思議についてどのくらい知っているのかを調べるアンケート調査をするために、インタビューをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリップボードを活用して調べる。(スーパーマーケット前) <p>〈安心院七不思議があることを知っているか〉 〈安心院七不思議の話を知っているか〉</p>	○アンケート調査の趣旨を説明し、進んでインタビューすることができる。(B-2)	国語 (インタビュー) 社会 (わたしたちのまちにある店)

整理分析・課題設定	2	<p>○グループごとに、表やグラフなどを使って、まとめる。</p> <p>○インタビュー結果と七不思議に関わっている人の願いとのズレからこれからの活動を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・七不思議を知らない人もいた ・七不思議があるのを知っていても内容は知らなかった ・せっかく地域の人が本や紙芝居を作っているのに ・インターネットにも絵本が載っているのに ・もっとお話を知ってもらいたい 	<p>○分かりやすく表やグラフにまとめることができる。</p> <p>(B-4)</p> <p>○カードを使い、整理・分析することができる。</p> <p>(B-3)</p>	算数 (表とグラフ) 国語 (しりょうから分かる、小学生のこと)
整理分析	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">七不思議のお話を知らせよう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">七不思議のお話を知ってもらおう方法を考えよう</div> <p>○話を知ってもらう方法をこれまでの経験をもとに考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話を紙に書いて配るという方法は、たくさん配らないといけないから大変だ ・新聞に話を書いて貼るという方法は、見てくれない人がいるかも ・地域の人に直接七不思議を知ってもらえる時がないかな ・文化祭に来てもらって発表したら直接知らせられるよ ・文化祭で発表して、地域の人や安心院小のみんなにも知ってもらえたらいいね 	<p>○自分ができることを考えようとしている。</p> <p>(A-1)</p>	
整理分析	4	<p>○七不思議の話を文化祭で知ってもらうための方法を出し合い、各自で選んだ方法の良さや気になることについて考える。</p> <p>(お魚ボーン図：多面的に見る)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居(絵がある) ・プレゼン(写真がある) ・模造紙(壁にも貼れる) ・ジャンボ新聞(見えやすい) ・劇(やったことがある) ・歌(楽しい) <p>○課題解決のために考えた方法の中から、どの方法を実行するかを話し合う。</p> <p>(本時)</p> <p>(クラゲチャート：理由付け)</p> <p>○考えた方法の中から一番内容が伝わりやすい方法を選ぶ。</p> <p>多くの人に話の内容が伝わるという視点で話し合わせるようにする。</p> <p>(ピラミッドチャート：選択、焦点化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劇なら去年もできたからできそう ・自分たちで演じたら一番お話が伝わると思う ・劇がおもしろそう 	<p>○友だちと一緒に理由を考えながら方法を選ぶ話し合いをしている。</p> <p>(B-3)</p>	
まとめ・表現	5	<p>※これまでの経験から劇を選ぶと思われるので以下のように計画を立てておくが、子どもたちの選んだ方法に対応できるようにゆるやかな計画としておく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">文化祭で七不思議の発表をしよう</div> <p>○七不思議の中のどの話を劇で演じたいかを定める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台本作り ・分担決め ・準備 ・練習 <p>○アンケートを作成する。</p> <p>〈七不思議を知っていましたか〉 〈七不思議の話が分かりましたか〉 〈七不思議を見に行ってみたくて思いましたか〉等</p>	<p>○七不思議に関わる人と同じ願いを持って、劇に進んで取り組むことができる。(A-1)</p> <p>○友だちと協力して楽しむことができる。(A-2)</p>	文化祭

		<p>○文化祭で七不思議の発表をする。</p> <p>○文化祭に来てくれた方にアンケートをもらっておき、それをもとに振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めて七不思議を知った人がいた ・七不思議の話が分かりやすかったと言ってもらえた ・七不思議に行ってみたいと思った人がいたみたいで良かった 		
まとめ・振り返り	2	<p>○1年間を振り返って、もう一度七不思議についてウェビングをし、単元最初の自分と比べる。 (ビフォーアフター：比較、変容を捉える)</p> <p>○ポートフォリオを作成し、自分の成長を作文にまとめる。</p>	○自分自身の変容に気付くことができる。 (A-3)	国語 (わたしの三大ニュース) 2
英語ツール	3	<p>○ALT に安心院の七不思議に関する英語表現を教えてください。 (seven, stone, frog, tower, water, . . .)</p> <p>○ALT の国で言い伝えられている伝説や昔話を聞く。</p> <p>○安心院の七不思議に関する英単語クイズをする。</p>	○英語表現を使って楽しく活動をしている。 (C-1)	

5. 本時案

(1) 活動名 七不思議を知ってもらう方法を話し合おう。

(2) 主眼 文化祭の発表で安心院の七不思議を知ってもらうための方法を、伝わりやすさやこれまでの経験から理由付けて考えることにより、話し合いまとめることができる。

学習活動	時	指導上の留意点	評価（方法）
前時までに、文化祭で七不思議の内容を知ってもらうための方法をみんなで考え、各自でそれらの方法の良さをお魚ボーン図にまとめている。本時は、グループの中で各自の方法の中からどれを実行するか理由を考えながら話し合う時間である。			
1. これまでの活動を振り返り、本時の課題をつかむ。	5	○前時までの活動で、どんな方法があったかを振り返り本時の課題を提示する。 ・紙芝居 ・写真を見せながらプレゼン ・ジャンボ新聞 ・劇 ・歌 ・模造紙にまとめる	
七不思議の内容を知ってもらうためには、どの方法がいいか話し合おう。			
2. グループごとに考えをまとめる。	20	○本時の考える技とルーブリックを示す。 考える技 理由付ける ルーブリック S～A+友だちと話し合いながら、よりよい方法を考えることができる A～伝わりやすさやこれまでの経験から、理由付けて話し合うことができる B～伝わりやすさやこれまでの経験から、理由を考えることができる	
3. グループごとの考えを発表する。	15	○お魚ボーン図にまとめた各自の考えた方法とその良さを出し合わせる。 ○グループで話し合いながらどの方法がいいかを決め、クラゲチャートにその理由をまとめさせる。 ①クラゲの頭の部分に、各自の意見から自分たちがしたい・できそうな方法を決める。1つにしぼることができない場合は、もう1つのクラゲチャートに書いてもよいとする。 ②クラゲの足の部分に、どうしてその方法が七不思議を知ってもらうために良いのか、お魚ボーン図に書かれたことやこれまでの経験とつないで、選んだ理由を話し合う。 ○それぞれのグループで、どの方法を選んだのかを発表させる。その際、どんな理由を考えたかも発表させるようにする。 ○自分たちと違う考えに対して質問や意見があれば言わせる。考えが変わってもよいことを伝え、話し合いながら学級全体で3つ程度に作戦をまとめていく。 ・子どもでも分かりやすい紙芝居をする ・劇だったらお話がみんなに伝わりやすいと思う ・撮った写真を見せながら紹介したら分かりやすい	・伝わりやすさやこれまでの経験をもとに理由を考えながら方法を選ぶ話し合いをしている。 （観察、振り返りカード）
4. 学習の振り返りをする。	5	○本時の振り返りと自己評価を書かせ、発表させる。 ○次時は、自分たちができそうな方法を1つに決定していくことを伝える。	